HIE

HIEとは何ですか？

低酸素性（酸素不足）
虚血性（血流制限）
脳症（脳に影響を与える）

HIEと診断される赤ちゃんは何人いますか？

HIE は、生児 1,000 人あたり 2～3 人の割合で発生し、小児の場合には小児期に発生することもあります。

一般的な原因としては次のようなものが挙げられます:

- 胎盤機能不全
- 子宮破裂
- 胎盤早期剥離
- 臍帯圧迫
- 項部臍帯
- 母体血液凝固障害
- 胎児母体出血
- 出産時の外傷
- 胎盤血栓
- 肩甲難産
- 小児における心停止および乳幼児突然死症候群（SIDS）

HIEの早わかり

75～80%が生存する > 2年

50～70%が発作を経験する

40～50%が障害を発症

HIEは他の症状を引き起こす可能性がある

てんかん（乳児けいれん、レノックス・ガストー症候群およびESES、脳性麻痺、視覚障害、聴覚障害、摂食障害、学習および注意力の違いおよび障害、自閉症、実行機能障害など、特定の稀なてんかんを含む）が含まれます。

HIE治療

出生時の低体温療法（冷却療法）は、死亡率と障害率を低下させる効果が実証されています。出生直後の低体温療法以外にも、様々な治療法が開発中です。理学療法、作業療法、言語療法といったエビデンスに基づいた早期介入療法は、転帰を改善することが示されています。

HOPE for HIE
awareness • education • support

私たちの使命

啓発、教育、サポートを通じて新生児および小児のHIEの影響を受ける子供たちと家族の生活を向上させます。

@HOPEFORHIE と HOPEFORHIE.ORG にご連絡ください